

第3回



小児高次脳機能障害 支援者向け研修会

2019年度に実施し、好評いただいた内容の再演です。

2021年 **3**月 **5**日 **金** 13:00-15:30

Web開催
Zoomによる配信

小児高次脳機能障害概論

13:05-13:55

- ・子どもの高次脳機能障害とは
(千葉リハ小児神経科医)
- ・子どもの高次脳機能障害支援の流れ
(千葉リハ支援コーディネーター)

リハビリテーションの実際

14:05-15:25

- ・運動を通じた高次脳機能障害のリハビリ (PT)
- ・注意・視覚認知のリハビリ (OT)
- ・言語・記憶のリハビリ (ST)
- ・心理カウンセリングと家族支援 (心理)

15:25-15:30

終了の挨拶・アンケート

対象者 医療・福祉・教育・行政関係等の支援者

定員 **45名** (先着順)

申込方法 E-mailにてお申し込みください
kojinoushien@chiba-reha.jp

申込締切 **2月19日** **金** **参加費無料**

主催 千葉県千葉リハビリテーションセンター
小児高次脳機能障害「のぞみ」プロジェクト
高次脳機能障害支援センター



第3回小児高次脳機能障害支援者向け研修会

申込方法

必要事項①～⑤を記入の上、2月19日までにメールにてお申込みください。
Web開催のため、メールアドレスが必要となります。必ずメールでのお申込みをお願いいたします。

必要事項

※件名に「小児高次脳研修会」と必ず明記してください。

- ①参加者氏名（フリガナ）※研修会に参加される方全員のお名前
- ②住 所
- ③所属・職種
- ④連絡先電話番号（日中連絡が取れる番号）
- ⑤連絡先メールアドレス

欠席の場合は必ず事前のご連絡をお願いいたします。

注意事項

当日はZoomによる動画配信となります。
パソコンやスマホと通信環境があれば受講は可能です。
(マイクやWebカメラは不要)
Web配信時の録音・録画はご遠慮ください。
受講に関する手順は後日送付いたします。

E-mail kojinoushien@chiba-reha.jp

2月19日までにお申込みください。

※件名に「小児高次脳研修会」と必ず明記してください。

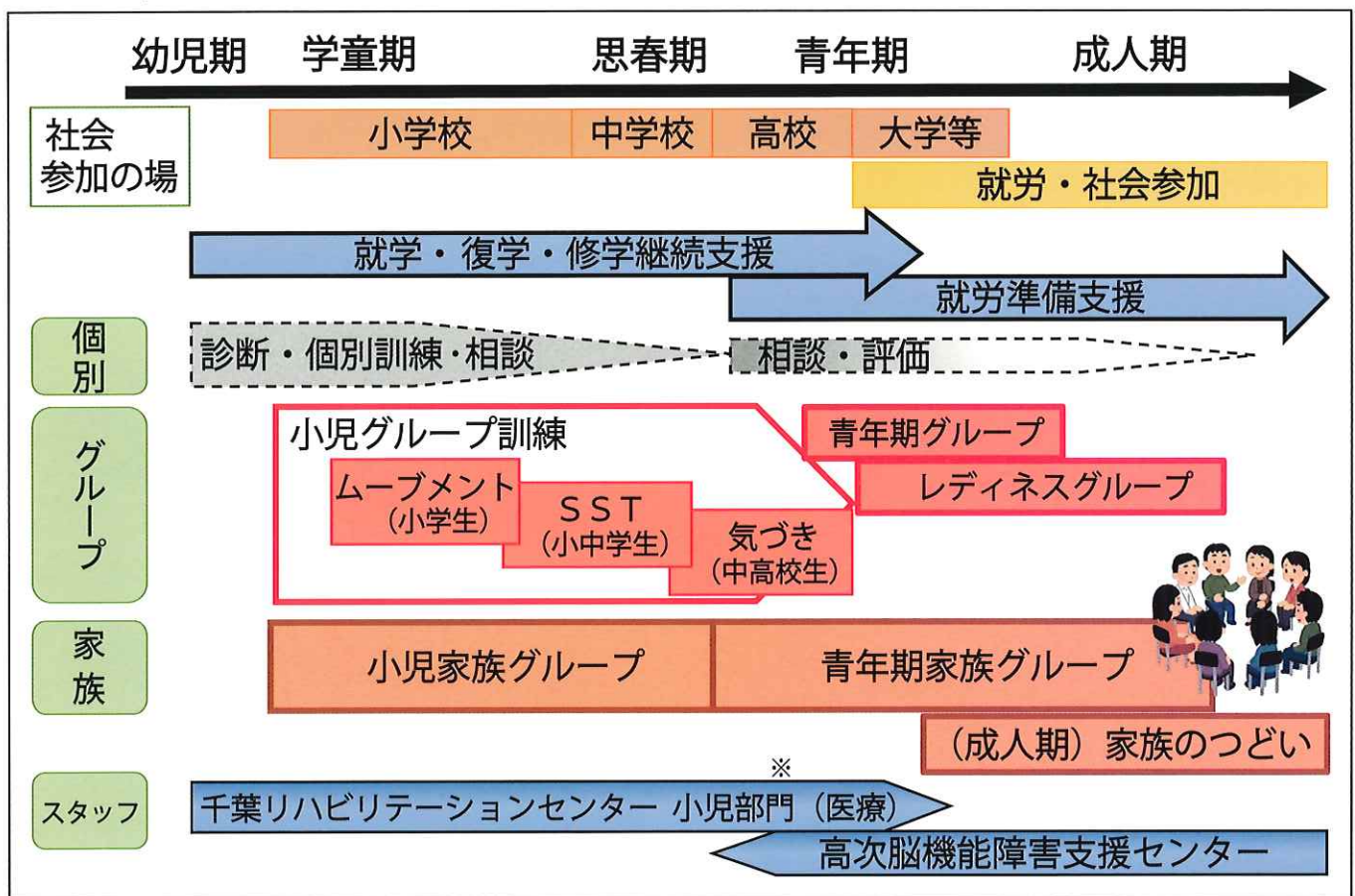
高次脳機能障害支援拠点機関 千葉県千葉リハビリテーションセンターにおける 子どもの高次脳機能障害の支援

【特徴】

- ①子どもの高次脳機能評価とリハビリテーション
- ②復学支援
- ③修学継続支援
- ④グループ活動
- ⑤家族の支援
- ⑥成人期を見据えた長期フォロー



当センター外来における小児期発症高次脳機能障害者の支援体系



①子どもの高次脳機能評価とリハビリテーション



標準化された小児版の評価ツールに加え、成人版の評価結果を当センターの参考値と比較するなど、複数の評価ツールを用いて高次脳機能評価を行います。

評価後にリハビリテーション（以下、リハビリ）の適応があれば、機能回復のためのリハビリ、学習方法や代償手段の獲得を目指したリハビリを、子どものリハビリに熟達したスタッフが行います。

※生活期では学校生活を行うこと自体が認知リハビリの機会となり得ます。よって、個別のリハビリと生活場面への適応のどちらを重視するかは子どもの状態によって異なります。



②復学支援

復学前の患者では、復学に向けたリハビリ、復学の時期の検討、学校との連携を行います。

入院では、隣接する袖ヶ浦特別支援学校で学校生活（少人数、個別の支援や工夫あり）を開始し、試験登校※1、学校間の連携や調整を行います。

外来通院では、復学の時期や通学時間・日数等の助言を行います。評価結果やリハビリの経過を踏まえて、学校教員へ症状や対応のポイントなどの情報提供※2を行います。また、学校生活への適応状況などを診療や相談にて把握し、助言を行います。

③修学継続支援

子どもの発達段階や環境の変化により、症状の出かたや問題点が異なってきます。随時必要な支援や助言を行います。

また、受傷時期が幼いほど、子どもの学校生活は長期に渡ります。進学や進級時に支援の中核となる教員や学校環境が変わり、理解や支援が得られにくい場合があります。

学校教員が子どもの症状を理解し支援が継続されるよう、必要時に関係する学校教員へ情報提供※2や情報交換を行います。

※1試験登校とは、復学先の学校に通う時間や日数を段階的に伸ばしながら試行的に通うこと。

※2学校への情報提供には、「文書」、スタッフの「学校訪問」、教員が来院する「連携会議」がある。

④グループ活動



子どもの発達段階や理解力等に応じて、障害や症状の理解と対処行動の獲得を目的にした、3つのグループを行っています。

- A ムーブメントグループ（小学生）
- B SSTグループ（小・中学生）
- C 気づきグループ（中・高校生）

※開催状況はお問い合わせください

⑥成人期を見据えた長期フォロー



学校卒業前の青年期からは、卒後の進路選択に向けて、高次脳機能障害支援センターが、当事者・家族を支援します。

障害特性の影響は、学校生活と職業生活とは異なります。また、普通教育の中では、就労を支援する制度や機関に関する情報はほとんど得られません。

高次脳機能障害支援センターでは、個別相談やグループ（「青年期グループ」「レディネスグループ」）にて、当事者・家族に、就労に関わる情報や体験の機会を提供します。また、具体的な進路に向けた相談や調整を行います。

障害者年金申請のための評価や診断書作成、運転評価なども行っています。

⑤家族の支援



子どもは親の養育下にあり、親の関わりや意向は重要です。しかし、中途障害ゆえの喪失感、回復への期待との葛藤などがあり、親の障害受容は複雑です。

親が課題を乗り越え、前を向いて歩んで行かれるよう、個別またはグループでの家族支援を行っています。

問合せ先：千葉県千葉リハビリテーションセンター 総合相談部

〒266-0005千葉県千葉市緑区菅田町1-45-2 Tel.043-291-1831（内線：226）

どこかが変!

病気

事故

ひょっとしたら?



のあと ひょっとして!

ひょっとしたら?

変

わったと
思ったら



高次脳機能障害

かもしれません。

高次脳機能障害とは、病気や事故の後遺症としてみられる障害です。

専門的には注意障害・記憶障害・遂行機能障害・社会的行動障害などといわれる症状のために、生活の中でそれまでできていたことができなくなって、生活しづらくなります。

しかし、一見してわかりにくく、「見えない障害」ともいわれています。

詳しい症状については裏面をご覧ください。

高次脳機能障害の原因*

脳外傷（交通事故・転落事故・スポーツ事故などによる脳挫傷・びまん性軸索損傷・硬膜下血腫など）
脳卒中（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血など）、脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症など

もしかして？『高次脳機能障害』チェックリスト

脳の病気やケガをしたことがある

はい・いいえ

*表面下部を参照



(高次脳機能障害ではありません)

病気・ケガの後から以下の症状があればチェック

- 授業中にぼんやりとすることが増えた
- テストやノートの記載でうっかりミスや間違いが増えた
- 遊びや話の内容が次々に変わるようになった
- 人の話を最後まで聞かなくなった
- 忘れ物や失くし物が増えた
- 今日授業で学んだことを家に帰るとあまり覚えていられなくなった
- 自分でやったのに「やってない」と言ったり、何度も同じ事を聞くようになった
- 約束を忘れるようになった
- 宿題に取り組むことがむずかしくなったり、なかなか終わられなくなった
- やることが決まっていなくて何をしたら良いかわからなくなった
- 学校の支度や整理整頓が一人ではできなくなった
- 思っていることをうまく話せなくなった
- 学校で頑張れるが家では疲れてぐったりしていることが多くなった
- 怒ったり泣いたり笑ったりなど感情の起伏が目立つようになった
- 態度や言葉遣いが幼くなった

脳の病気や事故で頭をケガした後に、こんなことが増えたとしたら、高次脳機能障害の症状かもしれません。生活のしづらさを改善するため、支援を受けることができます。

どこに相談すればいいの？

まず、病気やケガで入院・通院していた医療機関に、相談してみましょう。

また、高次脳機能障害の相談窓口として、千葉県内に支援拠点機関が開設されています。遠慮なくご相談ください。学校等に通っていらっしゃる方については、学校等に関する相談窓口でも相談を受けつけております。

千葉県支援拠点機関

- 千葉県千葉リハビリテーションセンター 千葉市緑区誉田町 1-45-2 043(291)1831

学校等に関する相談窓口

- 千葉県立袖ヶ浦特別支援学校
千葉市緑区誉田町 1-45-1 043(291)6922
- 千葉県総合教育センター 特別支援教育部
千葉市稲毛区小仲台 5-10-2 043(207)6025
- 千葉市養護教育センター
千葉市美浜区高浜 3-2-3 043(277)0101

地域支援拠点機関

- 旭神経内科リハビリテーション病院
松戸市栗ヶ沢 789-1 047(385)5566
- 亀田リハビリテーション病院 (亀田メディカルセンター)
鴨川市東町 975 番 2 04(7093)1400
- 総合病院国保旭中央病院 リハビリテーション科
千葉県旭市イの 1326 0479(63)8111